

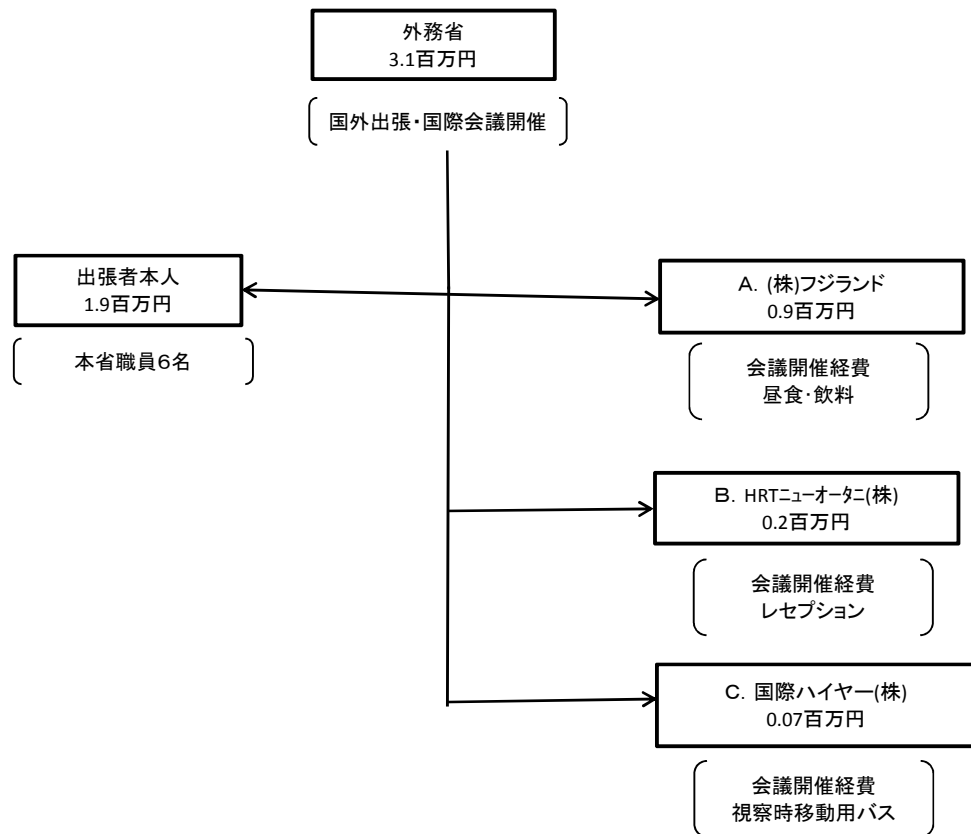
平成23年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	旅券の国際標準化等関係経費	担当部局庁	領事局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度		担当課室	旅券課	課長 清水 洋樹				
会計区分	一般会計	施策名	IV-1 領事サービスの充実					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第12項 外務省組織令第13条第9項 旅券法	関係する計画、 通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本はICAO(国際民間航空機関)の締約国であり、IC旅券の国際標準を策定するICAO機械読み取り式渡航文書専門家会合のメンバーであり、さらにその技術的な仕様を検討する新技術作業部会メンバーとして、次世代のIC旅券仕様にかかる標準策定協議に参画し、各国の旅券発行当局及び審査当局にとって有益かつ公平な技術の提案を行い、かつ、同協議状況を踏まえ、国際標準化動向に合わせた我が国旅券の高度化に必要な技術仕様の策定を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ICAOは旅行者の出入国手続きの簡易化及びセキュリティの強化を図る等の観点から渡航文書、主に旅券冊子のガイドラインを1978年に策定し、80年には機械読み取り旅券(MRP)の国際基準につきICAO加盟国に対しこの導入を勧奨した経緯があり、我が国も1992年11月にMRPを導入した。 我が国は国際社会における旅券等渡航文書の重要性が高まっていることや、旅券の新たな国際標準作りが進んでいることにかんがみ、各種標準策定協議のメンバーとして参画し、我が国の技術力を反映するなどの貢献を果たしている。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の 状況	当初予算	11	10	7	4	4	
		補正予算	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-			
		計	11	10	7	4	4	
	執行額		8	5	3			
	執行率(%)		74.0%	48.8%	44.6%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	旅券は申請に基づき発給されており、その発給数は国民の申請需要に対応していることから、政策的な定量的成果目標の設定には馴染まない。なお、IC旅券の発給は、毎年1,500万人超の海外渡航者の円滑な出入国に資するものとする。右欄は暦年の海外渡航者数。		成果実績	万人	1,598.7	1,544.6	1,663.7	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国内及び在外におけるIC旅券発給数。		活動実績 (当初見込み)	冊	4,001,789	4,139,406	4,170,762 (4,087,000)	— (4,185,881)
単位当たり コスト	(0.7円/冊)		算出根拠	22年度執行額(3,107千円)÷22年度IC旅券発給数(4,170,762冊) 【参考】IC旅券関連予算全体(事業番号:62・610・612・614・626・628・629・634・636・653・666・673)で見た場合の単位当たりコストは2,400円 (=22年度執行額(10,008,147千円)÷22年度IC旅券発給数(4,170,762冊))				
平成23・24年度 予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	3,856	3,649					
	計	3,856	3,649					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	国際社会における旅券等渡航文書を取り巻く国際標準化動向や技術仕様を踏まえ、日本旅券の信頼性を確保し、更なる国民サービスの向上を目指す。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り			
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)フジランド	会議開催経費 昼食, 飲料(コーヒー, ミネラルウォーター)	0.9	—	—
2	出張者A	領事業務に係る現地状況調査	0.5	—	—
3	出張者B	領事業務に係る現地状況調査	0.5	—	—
4	出張者C	第10回ICAO・PKD理事会会合	0.4	—	—
5	HRTニューオータニ(株)	会議開催経費 レセプション	0.3	—	—
6	出張者D	G8ローマ・リヨングループ移民専門家サブグループ会合	0.2	—	—
7	出張者E	G9ローマ・リヨングループ移民専門家サブグループ会合	0.2	—	—
8	出張者F	在タイ大領事業務支援	0.2	—	—
9	国際ハイヤー(株)	会議開催経費 視察時移動用バス	0.07	—	—
10				—	—